

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

(2024年3月期)

取組方針 1

お客さま本位の業務運営に関する取組方針の策定・公表

- (1) 四国銀行（以下「当行」という。）は、お客さまの資産形成及び資産運用等の金融サービスの提供に際し、以下の取組方針に則って、お客さま本位の業務運営に取り組みます。
- (2) 本方針に基づく取組状況に関しては、ホームページへの掲載等により毎年公表するとともに、取組状況の評価等を踏まえて方針の見直しを定期的実施し、より良い業務運営を行ってまいります。

- 当行は「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、お客さまの最善の利益の実現を目指して、取扱商品の拡充やアフターフォローの充実、従業員の教育など、本方針に基づいて「お客さま本位の業務運営」を実践しております。
- 当行の取組みをご理解いただけるよう、取組状況を定期的に公表するとともに、より良い業務運営実現に向け、取組状況や取組成果等を検証し、必要に応じて見直しを行い、その内容を公表していきます。

The screenshot shows the Shikoku Bank website's 'Enterprise & IR Information' section. The main heading is 'Policy on Business Operation for Customer-Centricity'. Below it, there are two main points:

- 1. お客さま本位の業務運営に関する取組方針の策定・公表**

(1) 四国銀行（以下「当行」という。）は、お客さまの資産形成及び資産運用等の金融サービスの提供に際し、以下の取組方針に則って、お客さま本位の業務運営に取り組みます。

(2) 本方針に基づく取組状況に関しては、ホームページへの掲載等により毎年公表するとともに、取組状況の評価等を踏まえて方針の見直しを定期的実施し、より良い業務運営を行ってまいります。
- 2. お客さまの最善の利益の追求**

(1) 当行は、お客さまの中長期的な資産形成とライフプランを実現することが「お客さまの最善の利益」につながると考えております。大和証券株式会社との業務提携（厳証連携）等を通じて、お客さまの多様化する資産形成・運用ニーズを捉えた金融商品・サービスを提供すると

取組方針 2

お客様の最善の利益の追求

- (1) 当行は、お客様の中期の安定的な資産形成とライフプランを実現することが「お客様の最善の利益」につながると考えております。大和証券株式会社との業務提携（銀証連携）等を通じて、お客様の多様化する資産形成・運用ニーズを捉えた金融商品・サービスを提供するとともに、次に掲げる取組みを実践します。
- ① お客様の運用ニーズにお応えするために厳選された商品ラインナップの構築および新たな金融商品・サービスの導入、見直しに努めます。
 - ② お客様の中期の資産形成をお手伝いするため、長期・積立・分散投資や少額投資非課税制度（NISA）のご提案に努めます。
 - ③ 保険商品については保障性保険のほかに、保険の機能を活用して、将来に備える（年金）、遺す（相続）、贈る（贈与）といったニーズに適切にお応えできるようお客様のご意向に沿ったご提案に努めます。
 - ④ 大和証券株式会社との提携で拡充した商品ラインナップも活用し、お客様の資産を長期的に成長させていく「ストック（残高）」重視のビジネスモデルを一層強化し、安定した収益基盤の構築につなげていきます。
- (2) 「お客様の最善の利益」の実現状況を図る指標を設定し、「取組状況」と併せて公表します。

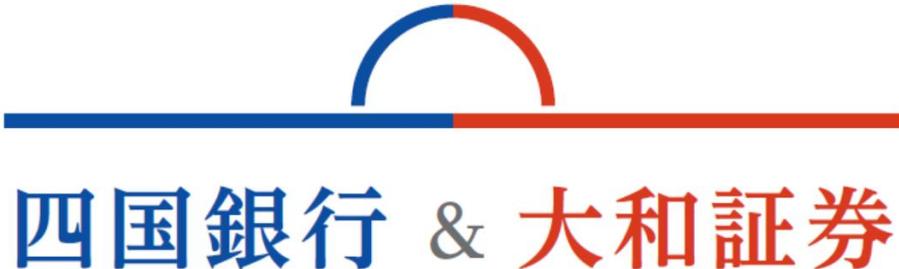
取組状況 2

お客様の最善の利益の追求

【大和証券との包括的業務提携の業務開始】

- 2023年4月から大和証券との金融商品仲介業務に関する包括的業務提携を開始しました。
- 大和証券の証券ビジネスにおける知見・経験・プラットフォームと、四国銀行の地域に密着したサポート態勢を組み合わせることで、四国銀行のお客さまにはより幅広い商品・サービスラインアップを提供し、大和証券のお客さまにはよりきめ細やかなコンサルティング機会を提供します。

しあわせを、大きくする。



四国銀行 & 大和証券

- 当行内にファイナンシャルアドバイザー部を新設し、高知県・徳島県に6つのFAプラザを設けました。
- FAプラザでは、株式、債券、ファンドラップ、保険、預金等を含めた幅広い商品・サービスラインナップを取扱うことで、お客さまにより一層高度で総合的なコンサルティングを提供いたします。また、各FAプラザが既存の営業店と連携することで、資産形成層から高齢者層まで幅広いお客さまに、これまで以上にきめ細やかなアドバイスを行ってまいります。

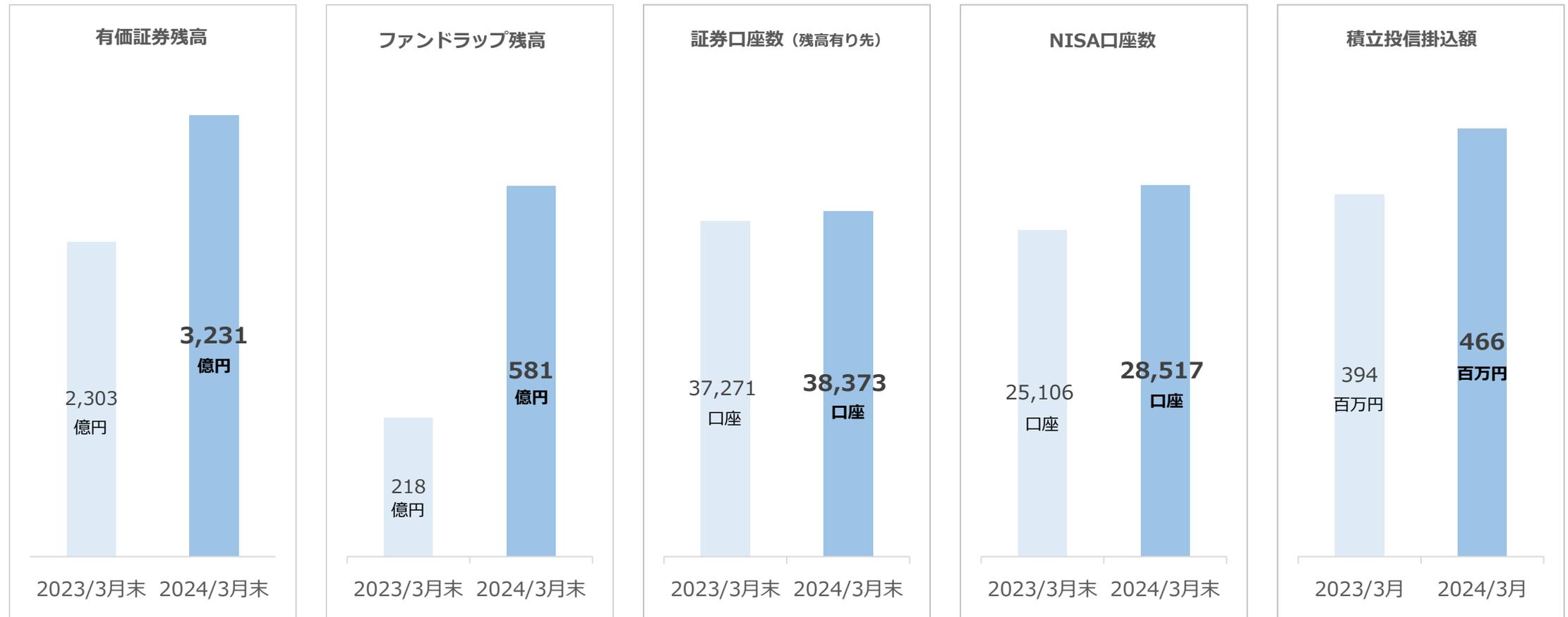
プラザ名称	住所
FAプラザ本店	高知県高知市南はりまや町1-1-1（本店内）
FAプラザ高岡	高知県土佐市高岡町甲2045-1（高岡支店内）
FAプラザ野市	高知県香南市野市町西野2050（野市支店内）
FAプラザ中村	高知県四万十市駅前町3-13（中村支店内）
FAプラザ徳島	徳島県徳島市川内町平石古田62-1（旧川内支店）
FAプラザ脇町	徳島県美馬市脇町字拝原2014-8（脇町支店内）

取組状況 2

お客様の最善の利益の追求

【「お客様の最善の利益」の実現状況を確認するための指標】

- 「お客様の最善の利益」の実現状況として大和証券仲介口座における有価証券残高・ファンドラップ残高・証券口座数などを継続的にお知らせします。



取組方針 3 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品提案や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することのないように、「利益相反管理方針」に基づき、取引におけるお客さまとの利益相反の可能性について正確に把握し、適正に業務を遂行してまいります。
- (2) 大和証券で取り扱う多くの商品や保険会社の商品を取り扱っておりますが、商品を販売する際は手数料の多寡等による特定の商品の推奨は行わず、お客さまの意向・ニーズに合った商品をご提案いたします。
- (3) 当行の同一グループ内に金融商品の提供会社がないため、お客さまへの金融商品の勧誘販売に際して、お客さまの利益を不当に害するような利益相反は発生しません。

取組状況 3 利益相反の適切な管理

- お客さまの利益を不当に害することのないように、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、適正に業務を遂行してまいります。
- 「利益相反管理方針」については、ホームページにて概要を公表しております。



1.利益相反管理の対象取引と特定方法

「利益相反」とは、当行もしくは当行のグループ会社とお客さまの間、または当行もしくは当行のグループ会社のお客さま相互間において利益が相反する状況をいいます。当行では、利益相反管理の対象となる利益相反のおそれのある取引（以下「対象取引」といいます）として、お客さまの不利益のもと、当行または当行のグループ会社あるいは他のお客さまが利益を得ている状況が存在し、かつその状況がお客さまとの間の契約上または信義則上の地位に基づく義務に反している取引を管理いたします。当行では、お客さまとの取引が対象取引に該当するか否かにつき、利益相反管理統括責任者が適切に特定いたします。

2.対象取引の類型

取組状況 3

利益相反の適切な管理

- 大和証券で取り扱う多くの商品や保険会社からお客さまにご提案する商品を採用し、特定の商品販売に偏ることのないご提案に努めてまいります。
- 当行の同一グループ会社内に金融商品の提供会社はございません。

投資信託	ファンド名	委託会社	販売シェア
	1 インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	インベスコ・アセット・マネジメント	11.2%
	2 ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和アセットマネジメント	10.9%
	3 日本高配当リバランスオープン	SBI岡三アセットマネジメント	5.1%
	4 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	アライアンス・バーンスタイン	4.1%
	5 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月分配型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	3.6%
	6 債券パワード・インカムファンド (資産成長型)	SOMPOアセットマネジメント	3.0%
	7 フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	3.0%
	8 半導体関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	3.0%
	9 フィデリティ・日本割安成長株投信	フィデリティ投信	2.7%
	10 明治安田NB世界高利回り事業債ファンド2023-07 (限定追加型)	明治安田アセットマネジメント	2.4%

生命保険 (一時払)	商品名	保険会社	保険料シェア
	1 えらべる外貨建一時払終身	明治安田生命	15.6%
	2 四国の絆 (きずな) 3	第一フロンティア生命	13.9%
	3 外貨建・エブリバディプラス	明治安田生命	13.5%
	4 サニーガーデンEX	メットライフ生命	11.7%
	5 はじめての介護	ニッセイ・ウェルス生命	7.8%
	6 やさしさ、つなぐ 2	三井住友海上プライマリー生命	6.6%
	7 プレミアカレンシー 3	第一フロンティア生命	5.2%
	8 生涯プレミアムワールド 5	T&Dフィナンシャル生命	5.0%
	9 エブリバディ II	明治安田生命	4.1%
	10 ビーウィズユープラス	メットライフ生命	3.7%

生命保険 (平準払)	商品名	保険会社	保険料シェア
	1 つみたてねんきん 2	ニッセイ・ウェルス生命	24.6%
	2 あしたも充実	三井住友海上プライマリー生命	7.6%
	3 こだわり個人年金	マニュライフ生命	6.5%
	4 ふるはーとF	住友生命	6.0%
	5 たのしみ未来	住友生命	5.3%
	6 医療保険EVERシンプル	アフラック	5.3%
	7 米ドル建終身保険Candle	オリックス生命	4.3%
	8 医療保険EVER Prime	アフラック	4.3%
	9 ネオdeいりょう	ネオファースト生命	4.0%
	10 ネオdeがんちりょう	ネオファースト生命	4.0%

取組方針 4

手数料等の明確化

- (1) お客様にご負担いただく手数料等について、お客様が商品・サービスの購入を判断する重要情報の一つであると考え、お客様のご理解状況に応じて、類似商品・代替商品との比較も含め、分かりやすくご説明いたします。
- (2) 手数料その他の費用の詳細については、「重要情報シート」、「契約締結前交付書面」及び「目論見書」等により、お取引後は報告書等によりご確認いただけます。

取組状況 4

手数料等の明確化

- 各種金融商品をご契約いただくまでにお客様にお渡しする各種資料にて、当行が取り扱う金融商品の手数料が比較できるよう、分かりやすくご説明させていただきます。

主な資産形成商品・サービスの比較					
お客さまのご目的	外貨預金	外貨建債券	換金信託	ファンドラップ	外貨建一時払保険
期間	短期～中期	短期～中期	長期～定年まで	短期～中期	中期～長期
投資先	円建て	円建て	円建て	円建て	円建て
特徴・利点	外貨建ての預金として、円建ての預金よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての預金として、円建ての預金よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての債券として、円建ての債券よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての債券として、円建ての債券よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての信託として、円建ての信託よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての信託として、円建ての信託よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建てのファンドラップとして、円建てのファンドラップよりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建てのファンドラップとして、円建てのファンドラップよりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての一時払保険として、円建ての一時払保険よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての一時払保険として、円建ての一時払保険よりも金利優遇が受けやすい。
主なリスク	外貨建ての預金として、円建ての預金よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての預金として、円建ての預金よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての債券として、円建ての債券よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての債券として、円建ての債券よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての信託として、円建ての信託よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての信託として、円建ての信託よりも金利優遇が受けやすい。	外貨建てのファンドラップとして、円建てのファンドラップよりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建てのファンドラップとして、円建てのファンドラップよりも金利優遇が受けやすい。	外貨建ての一時払保険として、円建ての一時払保険よりも金利優遇が受けやすい。また、外貨建ての一時払保険として、円建ての一時払保険よりも金利優遇が受けやすい。
コスト	購入時手数料 運用時手数料	購入時手数料 運用時手数料	購入時手数料 運用時手数料	購入時手数料 運用時手数料	購入時手数料 運用時手数料

取組方針5

重要な情報の分かりやすい提供

- (1) 商品・サービスの仕組みや特徴について、お客さまの金融知識や取引の実績、商品の複雑さに配慮したうえで、平易で分かりやすい表現を用い、お客さまの立場に立った丁寧な説明に努めます。
- (2) 投資信託や保険商品の商品性、リターン、リスク、お取引いただいている条件などの重要な情報についても、お客さまの取引経験、金融知識等を把握したうえで明確かつ平易に説明いたします。
- (3) 重要情報シートを使用して、投資信託の委託会社などその組成に携わる事業者が販売対象として想定する顧客属性についても情報を提供します。商品の選定理由や利益相反の可能性のある場合の具体的内容及び取引・業務に及ぼす影響等の重要な情報は、都度状況に応じて説明してまいります。
- (4) 複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、それぞれの重要な情報についても、わかりやすく説明してまいります。重要情報シートには、パッケージ化の有無を記載しており、またパッケージ化商品の場合には、「個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか」を説明することとしています。
- (5) 複雑またはリスクの高い商品の販売・推奨を行う場合には、お客さまが同種の商品内容と比較することが容易になるように、「主な資産形成商品・サービスの比較表」や「重要情報シート」を用いて、わかりやすく丁寧な情報提供を行います。
- (6) 情報の提供あるいは商品の提案に際し、必要に応じて本部専門部署による説明も行うなど、より高品質なコンサルティングに努めます。

取組状況 5

重要な情報の分かりやすい提供

【重要情報シートの整備・活用】

- お客さまに提供する金融商品・サービスに関する重要な情報を簡潔に記載し、分かりやすい情報提供を目的として、2022年3月に「重要情報シート（金融事業者編）」を導入しました。その後、「重要情報シート（個別商品編）」を順次導入し、お客さまに金融商品の内容・仕組み・リスク・手数料等を分かりやすくご説明できる態勢を目指してまいります。
- 重要情報シートを使用して情報提供する場合には、投資信託の委託会社などその組成に携わる事業者が販売対象として想定する顧客属性についても提供します。商品の選定理由や利益相反の可能性のある場合の具体的内容及び取引・業務に及ぼす影響等の重要な情報は、都度状況に応じて説明してまいります。
- 複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかを含め、それぞれの重要な情報についても、わかりやすく説明してまいります。重要情報シートには、パッケージ化の有無を記載しており、またパッケージ化商品の場合には、「個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか」を説明することにしています。

Shikoku Bank

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート(金融事業者編)

1. 当行の基本情報 (当行はお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です)

社名	株式会社四国銀行	当行の概要を記したウェブサイト
登録番号	四国財務局長(登金)第3号	https://www.shikokubank.co.jp
加入協会	日本証券業協会	

2. 取扱商品 (当行がお客さまに提供できる金融商品は次のとおりです)

預金(投資性なし)	○	預金(投資性あり)	○
国内株式	—	外国株式	—
円建債券	○	外貨建債券	○(※1、2、3)
特殊な債券(仕組債等)	○(※2、3)	投資信託	○
ファンドラップ	○(※2)	ETF、ETN	—
REIT	—	その他の上場商品	—
保険(投資リスクなし)	○	保険(投資リスクあり)	○
これら以外の商品	上記以外にも様々なニーズにお応えできる商品・サービスをラインナップしています。詳細はお取扱い窓口までお問い合わせください。		

※1 野村證券株式会社の金融商品仲介口座での取扱い ※2 大和証券株式会社の金融商品仲介口座での取扱い
※3 四国アライアンス証券株式会社の金融商品仲介口座での取扱い
その他、SMBC日興証券株式会社およびSBI証券株式会社の金融商品仲介口座開設の取扱いも行っていきます。

3. 商品ラインナップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

・四国銀行は、お客さまのライフステージに応じた多様なニーズに的確にお応えできるように、商品ラインナップを幅広く取り揃えています。また、お客さまの金融知識や資産状況、取引の目的等を十分把握のうえ、お客さまの意向に沿った適切かつふさわしい商品・サービスの提供に努めています。

・商品選定にあたっては、お客さまの利益と当行の利益が反することがないように、特定の運用会社や保険会社等の商品に偏ることなく、また、ご負担いただく手数料等の透明性を高めて、お客さまの立場に立った丁寧な説明に努めています。

4. 苦情・相談窓口 (お取引に関する相談や苦情のお問い合わせ先は次のとおりです)

当行お客さま相談窓口 (ご意見・苦情専用窓口)	① 四国銀行お客さまサービスセンター	088-823-2111
加入協会共通の相談窓口	② 全国銀行協会相談室	0570-017109 (03-5252-3772)
	③ 証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC)	0120-64-5005
上記以外の相談窓口	④ 生命保険協会 生命保険相談所	03-3286-2648
	⑤ 金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811)

【受付時間】
①～④ 平日 9時～17時(祝日・年末年始を除く)
⑤ 平日 10時～17時(祝日・年末年始を除く)

 四国銀行

取組方針 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

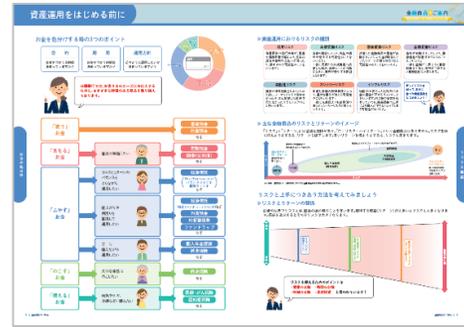
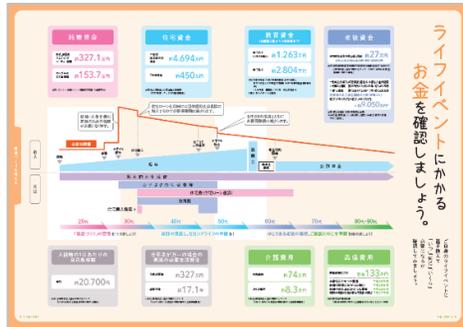
- (1) お取引に際しては、お客さまの金融知識や資産状況、取引の目的等を十分把握のうえ、ライフプランなどを踏まえたコンサルティングを行い、お客さまの資産運用および資産形成の意向に沿った、適切かつふさわしい商品・サービスの提供に努めます。
- (2) 商品の販売後におきましても、お客さまのライフプランの達成状況や変化を確認したうえで、経済環境や市場動向等を踏まえた適時適切な情報提供を行うなど、アフターフォローの充実に努めます。
- (3) リスク性商品の導入にあたっては、想定されるお客さまを明確にし、リスクと期待リターンの合理性及びお客さまの負担するコストと期待リターンの関係等を検証します。また、商品導入後は、販売実績等を鑑み、必要に応じてラインアップの見直し等を行います。
- (4) 複雑またはリスクの高い商品・サービスをご案内する場合や高齢のお客さま等へのご案内に際しては、適合性判断や勧誘開始基準等のルールを設け、より慎重にサービスの提供を行います。販売後の高齢顧客の認知状況や健康状態の変化の把握に努め、変化に合った対応を進めていきます。
- (5) お客さまの多様なニーズに的確に対応していくため、役職員向けの研修や勉強会等を継続的に実施し、スキルアップにつなげてまいります。また、お客さまに資産形成の重要性やライフプランの明確化、金融取引に関する知識を深めていただくことを目的に、資産形成・マーケット情報・相続等のお客さま向けセミナーを開催してまいります。

取組状況 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

【パンフレット・チラシを活用した情報提供】

- お客さまのライフステージに応じた「マネープラン」や「相続・資産承継」を実現するために、パンフレット等を活用して情報を提供しております。



商品の提案・販売にあたっては、お客さまからライフプランや今後のライフイベント等をお伺いしたうえで、例えば、保険の機能を活用して将来に備える（年金）・遺す（相続）・贈る（贈与）提案を行うなど、お客さまのご意向に沿ったご提案を行ってまいります。



高齢化社会の進展に伴うお客さまの多種多様なニーズをヒアリングし、適切な相続関連サービスを提案させていただきます。

【資産運用プランニングツールを活用したゴールベースアプローチ】

- 人生100年時代の到来を受け、資産運用におけるお客さまのニーズも多様化しています。積極的に投資を行いたい方もいれば、老後の備えとして安定した収益を目指したい方などその目標（ゴール）は様々です。
- 資産運用プランニングでは、そうしたお客さま一人一人の目標の実現に向けて、お持ちのご資産の分析を通じて、リスクや課題を見える化し、最適なソリューションを提供させていただきます。

現状分析

お客さまの資産の状況や運用上のリスク、運用成果予測を最先端の金融テクノロジーで「見える化」

運用戦略の策定

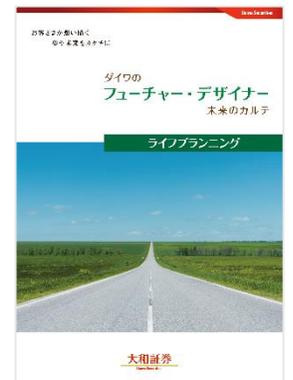
世界中の投資家も利用する高度な分析エンジンで、お客さま一人ひとりに最適な投資戦略をご提案

運用成果の確認

ゴールに向けた進捗状況をモニタリングし、最新の状況やリスクを定期的にレビュー

投資の実行

お客さまの投資戦略やニーズにお応えするグローバルな商品ラインナップ



取組状況 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

【アフターフォローの状況】

- 金融商品をご購入いただいた後も、アフターフォローを通じて、お客さまニーズ・ライフイベント等に合った、適時適切な情報提供させていただきます。

アフターフォローの実施状況

	対象先数	実施数	比率
保険商品	8,307	8,208	98.8%
ファンドラップ	4,297	3,882	90.3%



【投資性商品の販売勧誘ルールの整備】

- 投資性商品の取扱いに際して、「金融商品販売に係る勧誘方針」を定めると共に、従業者は「投資性商品取扱マニュアル」に基づいた適切な販売・勧誘に努めております。
- 提案に際し、「プロファイリング（ヒアリングシート）」や「顧客カード」を活用して、お客さまの年齢、投資の方針、知識・経験および資金の性格等の把握に努めて、ライフステージに応じた最適な金融商品・サービスをご提供いたしております。

【高齢者のお客さまへの丁寧な説明】

- 特に高齢のお客さまは、より慎重な商品説明および理解確認が必要であるとの考え方にに基づき、年齢や提案商品に一定の基準を設けると共に、管理者による高齢者面談等を実施しております。また、代理人の選任や、金融商品のお申込時には、ご家族の同席や同意をお願いし、より丁寧な対応を行っております。
- ご契約後も、時間の経過と共に当初目的や商品理解に変化がないかを確認させていただくために、アフターフォローに努めております。

取組状況 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

【商品ラインナップの整備】

- お客さまのご投資目的・リスク許容度・ライフプラン・お悩み等にきめ細やかに対応できるよう、証券商品、保険商品、信託商品等の商品ラインナップの充実を図ってまいります。

投資信託ラインナップ							
		2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
国内	株式	14	10%	16	10%	76	13%
	債券	3	2%	3	2%	13	2%
	REIT	4	3%	4	3%	13	2%
海外	株式	37	26%	42	27%	193	34%
	債券	19	13%	19	12%	109	19%
	REIT	10	7%	10	6%	28	5%
	バランス	51	35%	57	36%	107	19%
	その他	6	4%	6	4%	25	4%
	合計	144	100%	157	100%	564	100%

生命保険ラインナップ<店頭>										
		2022年3月末			2023年3月末			2024年3月末		
		商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	
一時払	円建	変額年金								
		定額年金	3		2		3			
	医療	終身	5		6		8			
		外貨建	15		13		15			
	変額年金	定額年金	2		2		1			
		終身・養老	3		2		3			
		終身	10		9		11			
		合計	23		21		26			

生命保険ラインナップ<ほけんプラザ>										
		2022年3月末			2023年3月末			2024年3月末		
		商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	商品数	
一時払	円建	変額年金								
		定額年金					3			
	医療	終身					8			
		外貨建					15			
	変額年金	定額年金					1			
		定額年金					3			
		終身・養老					11			
		合計					26			

平準払	円建	定額年金								
		養老								
	終身	定期	2		2		2			
		収入保障	1		1		1			
	医療	がん	4		4		4			
		学資	2		3		3			
	特定疾病保障	学資					1			
		認知症・介護	1		1		1			
		就業不能保障	1		1		1			
		外貨建	3		4		5			
	年金	年金	1		2		3			
		終身	2		2		2			
		合計	15		18		19			

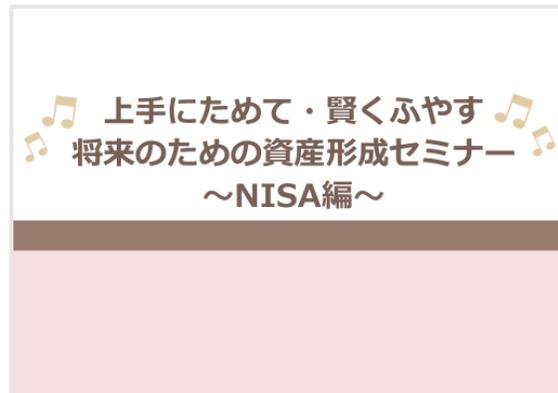
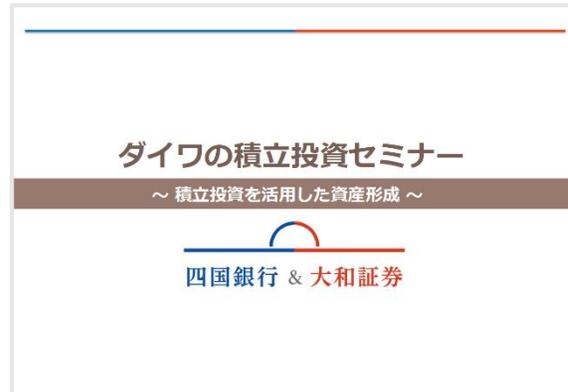
平準払	円建	定額年金	61		65		59			
		養老	1		1		1			
	終身	定期	9		9		10			
		収入保障	4		5		5			
	医療	収入保障	9		8		7			
		がん	17		18		16			
	特定疾病保障	がん	8		9		7			
		学資	1		1		1			
		特定疾病保障	4		4		3			
		認知症・介護	4		5		5			
	就業不能保障	就業不能保障	4		4		3			
		外貨建	3		4		5			
		年金	1		2		3			
	終身	終身	2		2		2			
		合計	64		69		65			

取組状況 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

【お客さま向けセミナーの開催】

- 積立投資・NISA・相続関連情報等、様々なテーマのセミナーを開催しており、地域のお客さまの金融リテラシー向上に資する取組みを行っています。



四国銀行

相続・贈与セミナー

お気軽にご参加いただけます！

【セミナーの内容】

税制改正により見直された「相続時精算課税制度」と「暦年課税制度」をわかりやすく解説！
 相続時精算課税制度を活用した方がいいの？ 暦年課税制度の方がいいの？
 はたまた何もしない方がいいの？
 回答は、それぞれのご家庭によって異なります。
 各制度の特徴や使い方を学んで、自分の家族にとって有効な活用方法を考えてみましょう！

日程 2024年4月17日（水） 13:30~14:30

場所 ちより街テラス 3階 貸会議室3

定員 36名（申し込み先着順）

料金 無料

講師
 税理士法人山田&パートナーズ
 松山事務所 税理士
 小椋 翼

1990年生まれ、愛媛県松山市出身。
 2019年に税理士法人山田&パートナーズ入社。
 入社後は、主として愛媛県及び高知県を中心として
 相続税申告・贈与税申告・相続対策コンサル
 ティングなど、個人の資産税関連業務に従事。

みなさまのご参加をお待ちしております♪

【お問い合わせ先】(銀行休業日を除く9:00~17:30)
 四国銀行 コンサルティング部(担当:今村、宮地)
 080-2855-4286

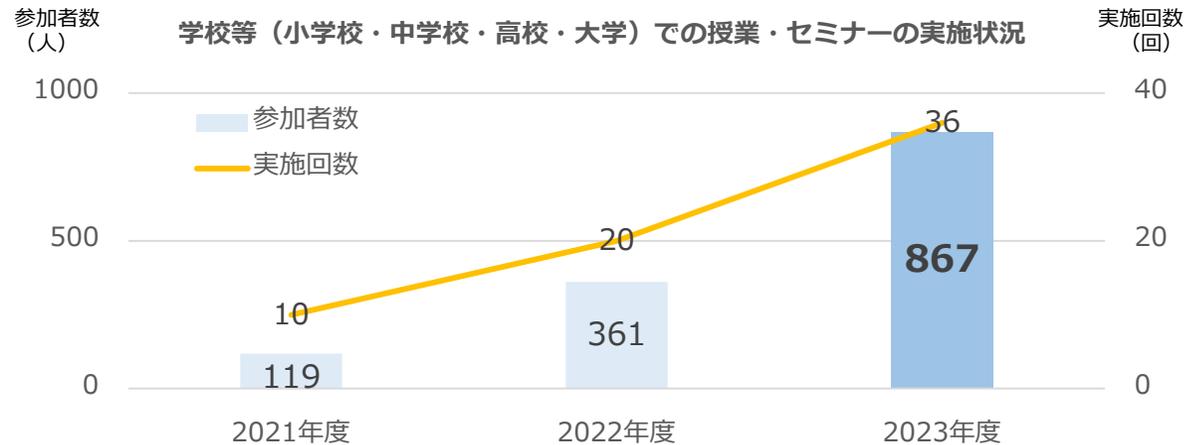
商号等：株式会社四国銀行(登録金融機関)
 登録番号：四国財務局長(登金)第3号
 加入協会：日本証券業協会

取組状況 6

お客さまにふさわしいサービスの提供

【金融経済教育への取組み】

- 成人年齢の引き下げ、高校家庭科での資産形成の授業開始等、これまで以上に金融経済教育の社会的意義が高まっており、地域の教育機関と連携し、金融リテラシーの向上や投資の基礎知識の普及に取り組んでいます。



小学校



高校

21世紀金融行動原則 最優良取組事例「運営委員長賞」を受賞しました。

2023年3月、「21世紀金融行動原則」において、金融経済教育の取組みとしては初となる最優良取組事例「運営委員長賞」を受賞しました。

将来世代への支援だけでなく、行員自らが教壇に立つ経験を積むことで、行内の人財育成、企業価値向上とも両立させようという積極的な取組みを評価していただきました。地域社会の発展に向けて、今後も金融経済教育の取組みを進化させてまいります。



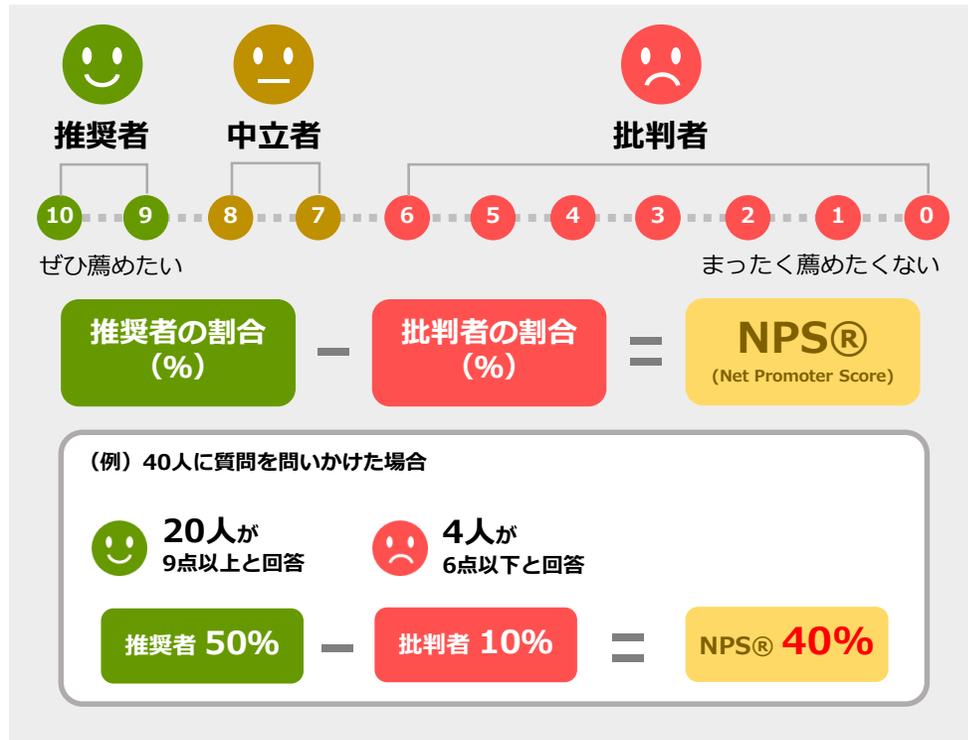
- (1) 「お客様の声」を業務運営に反映させる仕組みを強化していきます。
- (2) お客様の多様なニーズへの適切なコンサルティングサービスを提供するため、高度な商品知識や金融知識、倫理観を備え、誠実かつ適正に業務を行う従業員の育成に取り組みます。
- (3) お客様のニーズを的確に把握して最適な金融商品・サービスをご提案できるよう必要な知識を習得しコンサルティングスキルの向上を目指してFP2級以上の資格取得を推進します。
- (4) お客様の中長期の資産形成とライフプランの実現を目指すとともに、当行の安定的な収益基盤を構築するという観点から預り資産残高の積上げや資産形成層の裾野拡大を重要な指標として位置付け業績評価体系を整備します。

取組状況 7

従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

【NPS®等の活用による改善活動の高度化】

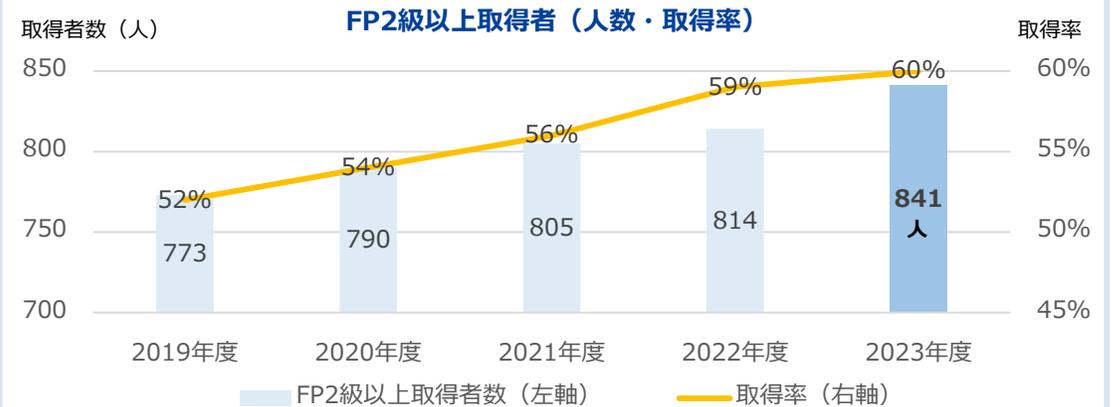
- 「お客さま本位の業務運営」の浸透・定着状況について、多面的な角度から検証・評価しており、確認するための指標の一つとしてNPS®等を導入し、活用による改善活動の高度化に取り組んでおります。



※NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

【プロフェッショナル人材の育成】

- 金融のプロフェッショナルとして、専門的な情報をわかり易くお伝えしお客さまの様々なニーズに対応するため、継続的な知識習得に努めるとともに社外資格取得を奨励してまいります。



- 行員向けセミナー・研修等を継続的に行い、幅広い知識の拡充に努めてまいります。



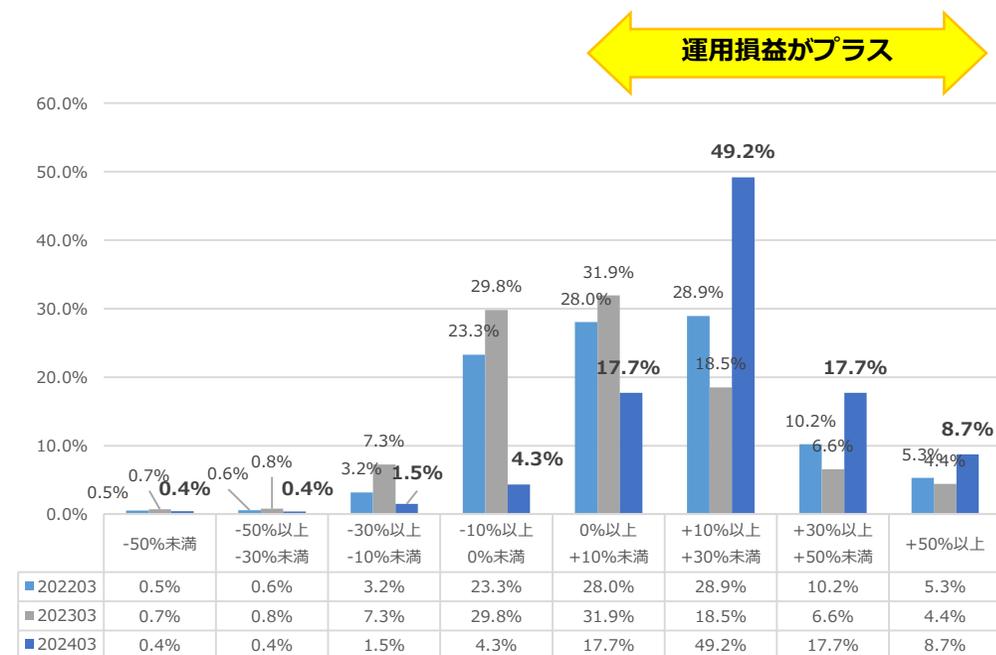
共通KPI

投資信託の販売会社における比較可能なKPI

お客さまには、保有資産の状況や市場の動向等を踏まえ、丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

また、お客さまの投資判断に役立つ情報の提供を充実させ、中長期的な資産形成・資産運用に資するコンサルティングを展開してまいります。

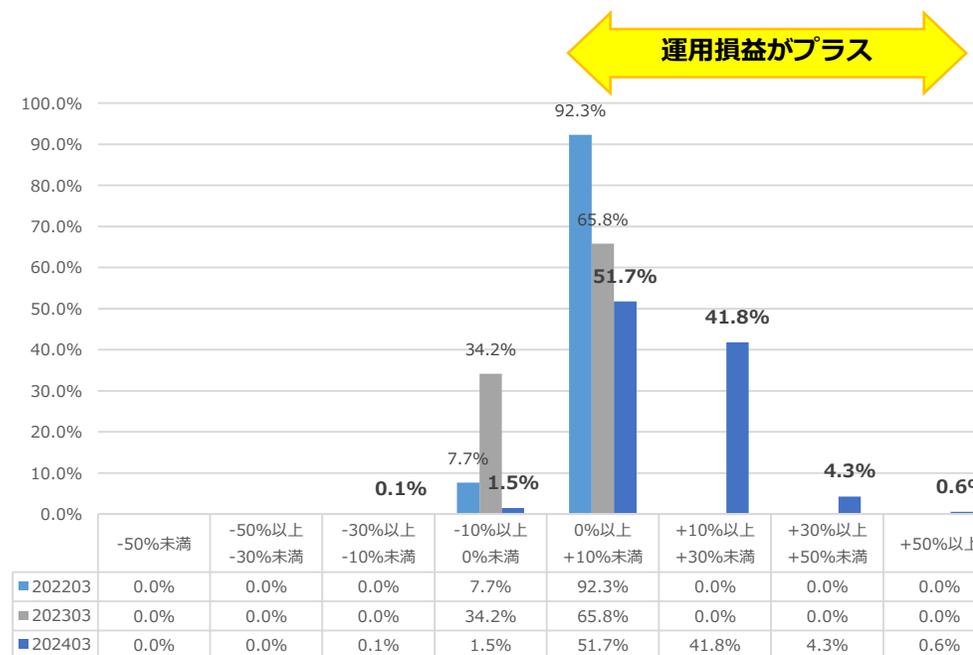
【投資信託の運用損益別顧客比率】



運用損益プラスの顧客比率

2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
72.4%	61.4%	93.3%

【ファンドラップの運用損益別顧客比率】



運用損益プラスの顧客比率

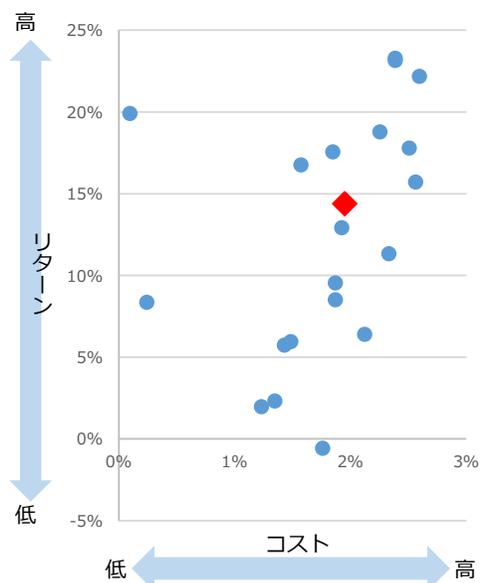
2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
92.3%	65.8%	98.4%

(注) 2024年3月末以降は大和証券の金融商品仲介の実績を掲載しています。ファンドラップは2022年度から大和証券との金融商品仲介で取扱を開始しました。

【投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン】 ※2024年3月末以降は大和証券の金融商品仲介の実績を掲載しています。

- 投資信託の残高上位20銘柄について、コストとリターンの状況を表しております。2022年3月末時点および2023年3月末時点、2024年3月末時点のコスト・リターンの残高加重平均値（◆印）は、以下の通りとなっております。

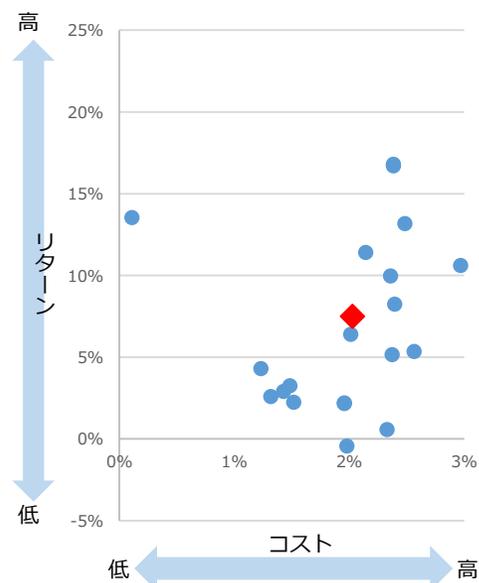
2024年3月末時点



No	銘柄名
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)
3	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)
5	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド
6	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 【愛称:世界のベスト】
7	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)
8	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 愛称 クアトロ
9	たわらノーロード先進国株式
10	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)
11	日本好配当リバランスオープン
12	ゴールドマン・サックス米国REITファンド (毎月分配型・為替ヘッジなし) 愛称: コロンブスの卵 Bコース
13	ダイワ米国リート・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし
14	次世代米国代表株ファンド 愛称: メジャー・リーダー
15	ピクテ新興国インカム株式ファンド (毎月分配型)
16	投資のソムリエ
17	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型) 愛称: ラッキー・カントリー
18	短期豪ドル債オープン (毎月分配型)
19	つみたて8資産均等バランス
20	次世代通信関連世界株式戦略ファンド 愛称: THE 5G

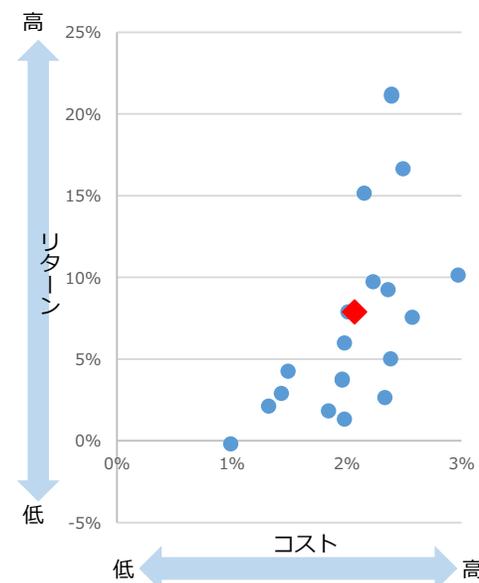
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.95%	14.39%

(参考) 2023年3月末時点



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.03%	7.48%

(参考) 2022年3月末時点

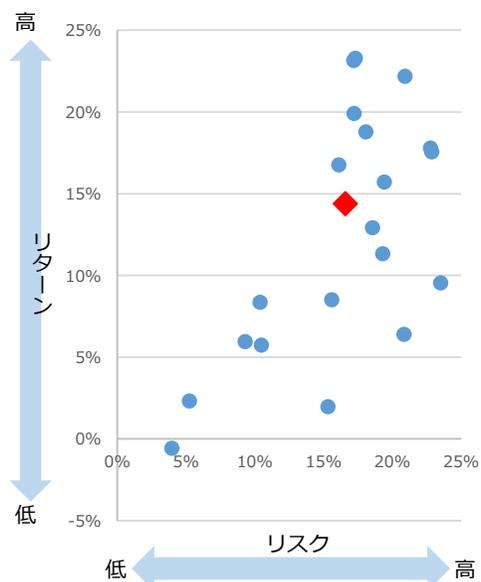


残高加重平均値	コスト	リターン
	2.07%	7.88%

【投資信託の預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン】 ※2024年3月末以降は大和証券の金融商品仲介の実績を掲載しています。

- 投資信託の残高上位20銘柄について、リスクとリターンの状況を表しております。2022年3月末時点および2023年3月末時点、2024年3月末時点のコスト・リターンの残高加重平均値（◆印）は、以下の通りとなっております。

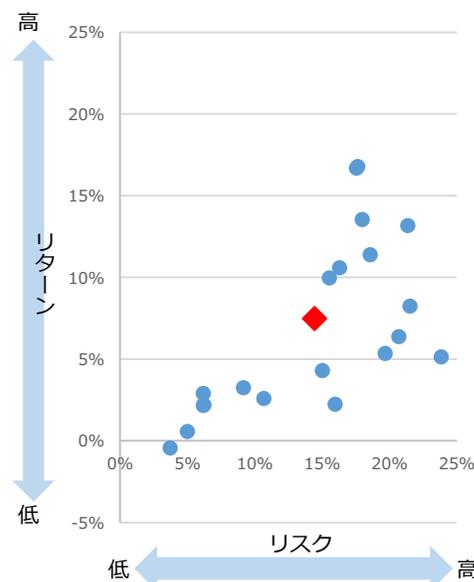
2024年3月末時点



No	銘柄名
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)
3	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)
5	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド
6	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 【愛称:世界のベスト】
7	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)
8	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド 愛称 クアトロ
9	たわらノーロード先進国株式
10	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)
11	日本好配当リバランスオープン
12	ゴールドマン・サックス米国REITファンド (毎月分配型・為替ヘッジなし) 愛称:コロブスの卵 Bコース
13	ダイワ米国リート・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし
14	次世代米国代表株ファンド 愛称:メジャー・リーダー
15	ピクテ新興国インカム株式ファンド (毎月分配型)
16	投資のソムリエ
17	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型) 愛称:ラッキー・カン트리
18	短期豪ドル債オープン (毎月分配型)
19	つみたて8資産均等バランス
20	次世代通信関連世界株式戦略ファンド 愛称:THE 5G

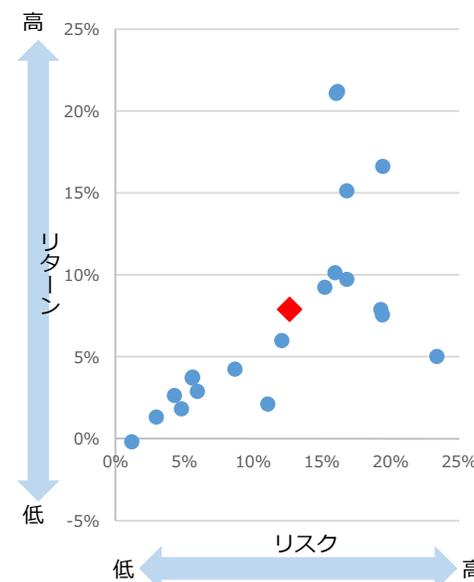
残高加重平均値	リスク	リターン
	16.57%	14.39%

(参考) 2023年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.44%	7.48%

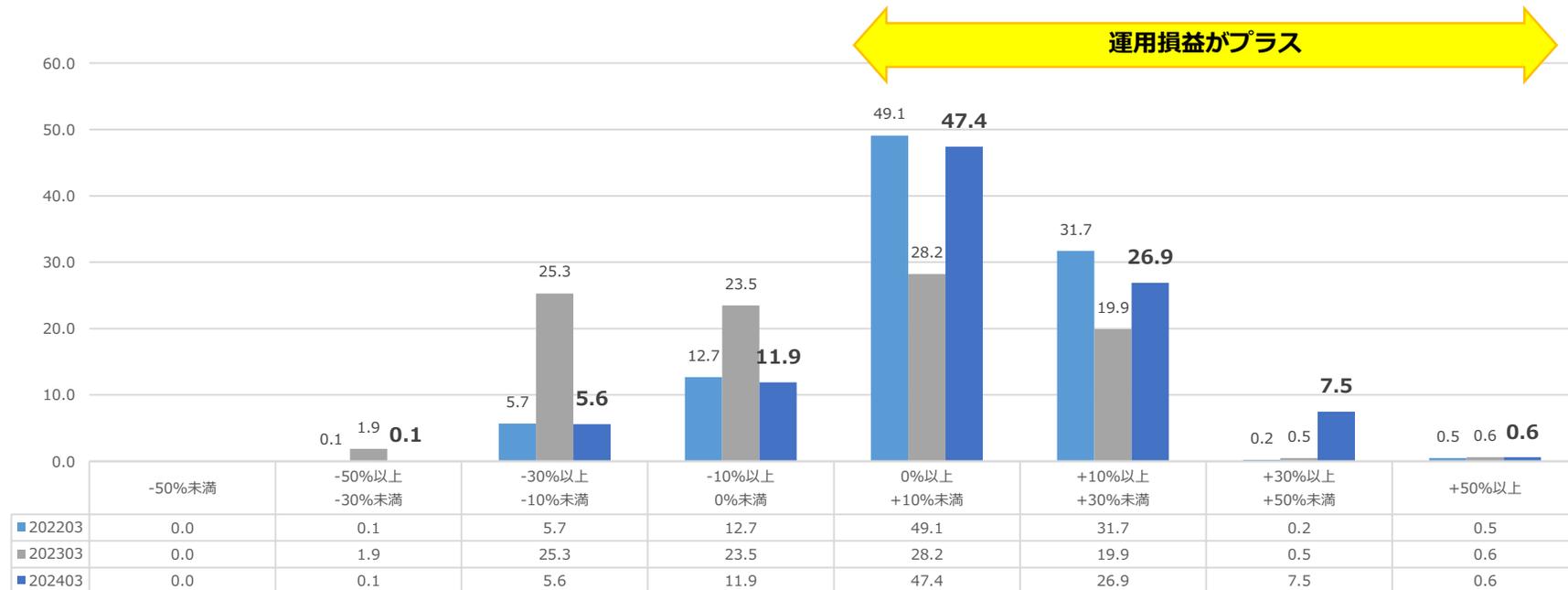
(参考) 2022年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.67%	7.88%

【運用評価別顧客比率】

- 外貨建保険を保有するお客さまの運用損益別の比率を表しております。
- 2024年3月末時点で外貨建保険を保有するお客さまのうち、運用損益がプラスのお客さまは全体の82.4%となっております。



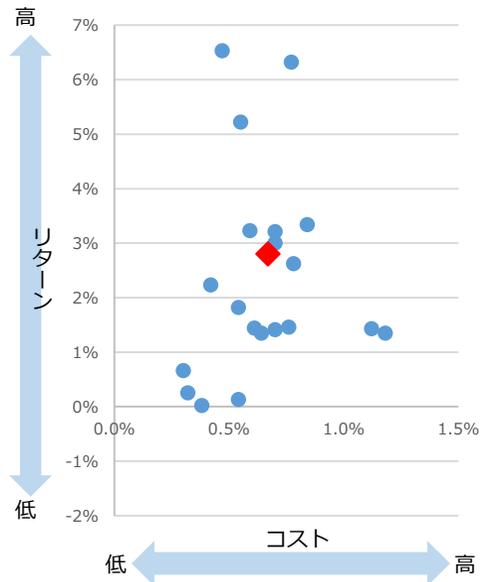
運用損益プラスの顧客比率

2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
92.3%	65.8%	82.4%

【外貨建保険の銘柄別コスト・リターン】

- 外貨建保険の残高上位20銘柄について、コストとリターンの状況を表しております。2022年3月末時点および2023年3月末時点、2024年3月末時点のコスト・リターンの残高加重平均値（◆印）は、以下の通りとなっております。

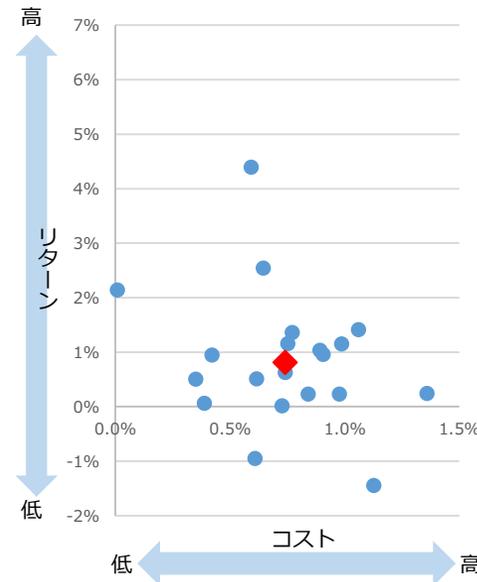
2024年3月末時点



No	銘柄名
1	プレミアシップ (外貨建)
2	サニーガーデンEX
3	やさしさ、つなぐ
4	四国の絆 (きずな)
5	三大陸
6	夢のプレゼント
7	しあわせ、ずっと
8	ロングドリームGOLD 2
9	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)
10	ピーウィズユープラス
11	サニーガーデン
12	ロングドリームGOLD
13	ふるはーとJロードグローバル
14	プレミアストーリー 2
15	ロングドリーム
16	プレミアカレンシー・プラス2
17	ピーウィズユー (USD建)
18	ピーウィズユー (豪ドル建)
19	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)
20	ロングドリームプラス

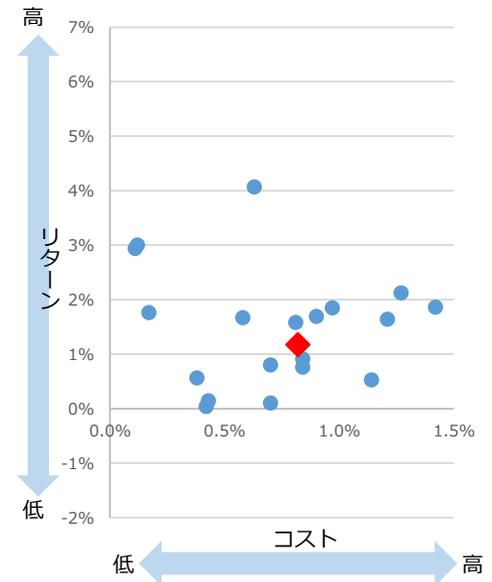
残高加重平均値	コスト	リターン
	0.67%	2.80%

(参考) 2023年3月末時点



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.74%	0.81%

(参考) 2022年3月末時点



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.82%	1.17%